



平成 16 年 4 月 27 日



株式会社りそな銀行
株式会社みずほコーポレート銀行
日本政策投資銀行

りそな銀行・みずほコーポレート銀行・日本政策投資銀行が協調して、昭和リース株式会社に対するシンジケート・ローン（総額 201 億円）を組成

1. 株式会社りそな銀行（アレンジャー、以下「りそな銀」）・株式会社みずほコーポレート銀行（アレンジャー、以下「みずほコーポ銀」）・日本政策投資銀行（コ・アレンジャー、以下「政投銀」）の 3 行は協調して、昭和リース株式会社（以下「当社」）に対し、政投銀の制度融資である福祉関連機器普及促進制度を組み込んだ総額 201 億円のシンジケート・ローンを組成いたしました。なお、本件シンジケート・ローンには、りそな銀・みずほコーポ銀・政投銀のほか、新規金融機関 6 社が参加いたしました。
2. 当社は、りそな銀行をメイン銀行とする収益性の高い総合リース会社であるが、適性規模での効率経営を標榜し、今期の復配にも目処がついたことから、更なる成長・発展を目指し、本件実行により資金調達先の拡大を企図したものです。結果として、りそな銀及びみずほコーポ銀に加え、政投銀が本件組成にコ・アレンジャーとして参加したこと、及び新規金融機関 6 社が参加したことにより、非上場リース会社としては最大規模のジェネラルシンジケートローン組成に成功し、当社の資金調達力向上に大きく寄与いたしました。
3. 本件は、りそな銀がアレンジャーとして、主導的な立場で組成に関与することにより、りそな銀による当社へのサポート体制をより明確にすると同時に、みずほコーポ銀及び政投銀がアレンジ業務に加わることで、本件に関わる当社への協力体制は、確固たるものとなりました。
4. りそな銀行とみずほコーポ銀及び政投銀は、資金調達先の拡大により、更なる成長・発展を目指す非上場企業等に対し資金調達面での全面的な協力を実施すべく、今後もこうしたシンジケート・ローンをアレンジしていく方針です。

【案件の概要】

- 昭和リース株式会社向けシンジケート・ローン
 - ・ 組成金額 : 201 億円
 - ・ アレンジャー : 株式会社りそな銀行、株式会社みずほコーポレート銀行
 - ・ コ・アレンジャー : 日本政策投資銀行
 - ・ 参加金融機関 : 株式会社りそな銀行、株式会社みずほコーポレート銀行、日本政策投資銀行に加え、新規金融機関 6 社を含む計 9 社
 - ・ 契約締結日 : 平成 16 年 3 月 23 日 (火)
- 昭和リース株式会社

本社 ; 東京都新宿区四谷 3 丁目 12 番地
資本金 ; 71 億 99 百万円
従業員 ; 439 名
事業内容 ; 総合リース業 (情報関連機器、産業・工作機械、建設機械、医療機器、商業設備、航空機などのリース、割賦販売ならびに各種ファイナンス業務)
URL ; <http://www.s-l.co.jp>